

藤沢市教育委員会定例会（10月）会議録

日 時 2006年10月13日（金）午後2時
場 所 東館2階教育委員会会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 教育長報告
 - (1) 平成18年9月藤沢市議会定例会の開催結果について
- 5 議 事
 - (1) 議案第21号 平成18年度藤沢市教育文化貢献者感謝会被表彰者の決定について
- 6 その他
 - (1) 第37回藤沢市総合かがく展について
 - (2) 「藤沢市こども議会」実施概要について
- 7 閉 会

出席委員

1 番 小 野 晴 弘
2 番 鈴 木 紳一郎
3 番 開 沼 佳 子
4 番 平 岡 法 子
5 番 川 島 一 明

出席事務局職員

教育総務部長	落 合 英 雄	生涯学習部長	高 木 三 広
教育総務部参事	小 島 隆	生涯学習部担当部長	浅 木 良 一
教育総務部参事	城 田 修 治	生涯学習部参事	渡 邊 忠 雄
教育総務部参事	飯 島 広 美	生涯学習部参事	植 木 正 敏
生涯学習部参事	武 清	生涯学習部参事	熊 谷 正 明
学務課長	田 中 一 次	保健給食課長	廣 野 賢 二
教育文化センター長	松 本 康 孝	書 記	上 野 進
書 記	松 森 裕 二		

午後2時00分 開会

川島委員長 ただいまから藤沢市教育委員会10月定例会を開会いたします。
会議に先立ちまして、鈴木委員の議席は2番と決定いたしましたことをご報告いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長 それでは、はじめに本日の会議録に署名する委員は、1番・小野委員、3番・開沼委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)

川島委員長 それでは、本日の会議録に署名します委員は1番・小野委員、3番・開沼委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長 続きまして、前回会議録の確認ですが何かありますか。
特にありませんので、このとおりの承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

小野委員 議案第21号平成18年度藤沢市教育文化貢献者感謝会被表彰者の決定につきましては、会議を公開することによりプライバシーを侵害するおそれがあり、また、意思決定過程の情報で表彰に係る事務の適正な執行に支障を生じるおそれがあると思いますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書に該当する事件に当たると思いますので、非公開での審議とするよう発議いたします。

川島委員長 ただいま、議案第21号平成18年度藤沢市教育文化貢献者感謝会被表彰者の決定については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書の規定により、非公開での審議を要請する発議がありましたので、同条第7項の規定によりまして直ちに採決を行います。

ただいまの発議に対しまして、賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

川島委員長 賛成5名。よって、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書の規定により、出席委員の3分の2以上の多数で議決いたしましたので、議案第21号平成18年度藤沢市教育文化貢献者感謝会被表彰者の決定については、後ほど非公開での審議といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長 次に、教育長報告に移ります。

小野委員 それでは、平成18年9月藤沢市議会定例会の開催結果についてご報告申し上げます。9月市議会定例会は、9月1日から10月3日までの33日間開催されました。

はじめに議案でございますが、教育委員会に関する議案といたしましては、

私立幼稚園園舎の耐震補強工事に対して補助金を交付する「幼児教育振興助成費」及び体育館の耐震診断調査の委託経費であります「小中学校校舎耐震補強事業費」に係る補正予算につきましては、総務常任委員会に付託され、審議され、本会議におきまして可決されました。

また、報告議案につきましては8月の教育委員会定例会でご審議をいただきました財団法人藤沢市芸術文化振興財団、財団法人藤沢市青少年協会、財団法人藤沢市スポーツ振興財団の経営状況について、それぞれ報告させていただきました。

次に、文教常任委員会につきましてご報告いたします。8月の教育委員会定例会でご審議をいただきました、改築した明治公民館の施設使用料に係る「藤沢市公民館条例の一部改正について」は、文教常任委員会へ付託され、審議の後可決すべきものと決定し、その後本会議におきまして可決されました。

次に、陳情の取り扱いをご報告いたします。陳情18第10号「国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択と藤沢市の私学助成制度拡充を求める陳情」の趣旨は、国に対し私立高等学校への助成金の一般財源化に反対し、国庫補助金の増額を要望する意見書の提出を求め、県に対しては私学助成の拡充と30人以下学級の意見書の提出を求めるもので、本市に対しては、私立幼稚園就園奨励費補助金及び幼児教育振興助成費の拡充、私立学校生徒への就学補助制度の新設や奨学金制度の充実を求めるものです。本陳情につきましては、国が進めている三位一体改革の状況や神奈川県が教育条件の維持・向上、保護者負担の軽減、学校経営の健全化を基本理念として、私学助成予算を増やしている現状をご説明し、本市としても30人以下学級は、現状でも児童生徒数が増加し、教室の確保に苦勞していることや、私立幼稚園関連の助成につきましても、各種の助成を行っており、さらなる充実や新設は困難であることをご説明いたしました。その後、質疑、討論、採決の結果、本陳情につきましては、趣旨不承となりました。

次に、報告案件でございますが、9月の教育委員会定例会でご報告いたしました「図書館のサービス拡大について」報告させていただきました。

続きまして、一般質問につきましてご報告いたします。藤沢市議会9月定例会では、全体で17人の市議会議員から一般質問がございましたが、教育委員会に対しましては6人の議員から8件、14の趣旨にわたり48項目のご質問をいただきましたので、主な内容を報告させていただきます。

はじめに、神奈川ネットワーク・藤沢の植木裕子議員でございますが、「市民の安全対策について」という件名で、「子どもの安全について」の要旨の中で、「学校では防犯についてどのような対応をしているのか」とのご質問

には、防犯訓練・防犯教室・安全マップづくりなどを実施することにより、児童生徒の防犯意識の高揚を図るとともに、安全管理マニュアルを作成し、校門の閉鎖や来校者のチェック、職員を対象にした緊急時の対応についての研修や訓練などを行い職員への徹底を図っておりますことや、さらに今年度9月からすべての市立小中養護学校に、不審者の侵入時に警報が職員室と警備会社に届き、警備員が直行する新しい非常通報システムを導入し、児童生徒の安全確保に努めております旨を答弁いたしました。

次に、藤沢市公明党の大塚洋子議員でございますが「ブックスタート事業について」と「発達障害児者への支援について」の件名で、2つの要旨に関わりの質問がございました。まず「ブックスタート事業について」の要旨1「準備状況について」で「ボランティアの研修について、どのような形で実施するのか」との質問には、事前講習会として子育て支援施策としてのブックスタート事業の意義や目的の理解、1歳6ヵ月前後の幼児の身体的・心理的発達状況、子どもにとって絵本やわらべうた等の持つ楽しさと、成長にとっての意義、そして実際に支援メッセージを伝える方法などを実習や見学も含めた形で行い、事業開始後にもフォローアップのための研修を行ってまいりますことを答弁いたしました。

要旨2「ブックスタート事業前と事業後の取り組みについて」で、「ブックスタート期間について」のご質問には、1歳6ヵ月児健診時に事業を行っていきませんが、一度絵本を手渡して終わりというのではなく、出生前から就学前にかけて、さらに少年期、青年期にかけての発達段階に応じた読書活動の機会や環境の整備を大切に考え、幼稚園、保育園、学校等とも連携をとりながら、啓発や情報提供、読み聞かせの機会の充実を図ります旨を答弁いたしました。

「発達障害児者への支援について」の要旨2「特別支援教育について」で、「個別の教育支援計画の作成状況について」のご質問には、平成17年度は盲・ろう・養護学校に在籍する児童生徒について作成しており、今年度は小中学校の特別指導学級在籍の児童生徒に対して導入する予定で進めております旨を答弁いたしました。

続きまして、立志の会の三野由美子議員より「湘南国際マラソンについて」という件名で、要旨1「大会の開催によって注目される海岸や134号線沿線の景観と環境に対する取り組みについて」で、「大会開催に際して134号線沿線の景観と環境に対する見解、計画等について」のご質問には、湘南国際マラソン大会実行委員会が提案している「参加者と一体となったクリーンアップ活動」など、単にスポーツ振興にとどまらず、大会を契機とした湘南海岸のPRや環境保護の大切さを訴える事業について期待できるものと

考えますが、具体的な取り組みにつきましては実行委員会と協議し、可能な範囲での調整を考えております旨を答弁いたしました。

次に、藤沢新政会の橋本美知子議員でございますが、「学校教育について」という件名で、要旨1「養護学校高等部入学者選抜について」の中で、「白浜養護学校高等部の入学選抜者の状況はどうか」とのご質問があり、2001年度以降、小中高3学部合計の児童生徒数が100名を超えており、プレイルームを改装して教室を増設するなど対応してまいりましたが、施設面でこれ以上の増員は不可能なため、高等部の入学者選抜において障害の重い子どもを優先して受け入れる方向で、県下の状況が落ち着くまでの間、県立養護学校と同様、抽選による選抜を行うこととしております旨を答弁いたしました。

次に、藤沢市公明党の松下賢一郎議員でございますが、「教育施策への対応について」の件名で6つの要旨でご質問がございました。まず要旨1「学校評価について」の中で、「義務教育諸学校における学校評価ガイドラインに示された自己評価における目標の達成状況の検証について、どのように取り組むのか」とのご質問には、目標の達成状況の検証についてあらかじめ評価項目を設定し、全教職員による自己評価と保護者や児童生徒、PTA役員等に対するアンケートを実施し、目標の達成状況の把握や取り組みの適切さの検証に努めております旨を答弁いたしました。

次に、要旨2「不登校の現状と対応策について」の中で、不登校児童生徒の状況をどう分析しているのか」とのご質問には、不登校状態となったきっかけは「学校生活に起因」が一番高く、ついで「本人の問題に起因」、「家庭生活に起因」の順となっており、不登校が継続している理由については、「不安など情緒的混乱」、「無気力」が上位を占めるなど、不登校はさまざまな問題の複合によって起こることが多いため、今後は児童生徒に対する支援や相談も含め、きめ細かな対応を充実させる必要から、本年度は不登校の傾向を早期に発見し、原因と解決方法を探る取り組みを進めてまいります旨を答弁いたしました。

次に、要旨3「子どもたちの体力向上について」の中で、「体力診断プログラム」の取り組みについてのご質問には、新体力テストの結果をもとに児童生徒が自己の生活改善に役立てたり、生涯にわたって運動・スポーツを豊かに実践していくための取り組みの1つとして、学校及び家庭に向けて紹介していきたいと考えております旨を答弁いたしました。

次に、要旨4「大学連携型スクールサポーター制度について」の中で、「大学と協定を結び、学生を学校に派遣するスクールサポーター制度についてどのように考えているのか」とのご質問には、本市でも今年度から鎌倉女子

大学や文教大学との間で覚え書を交わし、教員志望の大学生が学校長や教員の指示を受けながら、無償で児童生徒の学習指導補助、クラブ活動指導補助、郊外活動引率補助等の支援を行う「学生学校支援ボランティア」を開始いたしておりますことが、この制度を導入することにより年齢の近い、みずみずしい感覚を持つ大学生とふれあうことで、子どもたちが学習意欲を高め、また教職志望の学生にとって、現在の教育現場や子どもたちの様子を垣間見るといふ貴重な経験や、教職に対する意識を高めることができる等の効果が考えられ、現在では延べ 30 名のボランティアが学校に入り、順次活動を始めており、今後も近隣の他の大学にも活動を広げていきたいと考えております旨を答弁いたしました。

次に、要旨 5「学校版環境 I S O について」の中で、「特徴的な取り組みや効果などについて」のご質問には、昨年度より小中学校全校でチャレンジ「かわせみ」が実施され、節電・ごみの分別・資源物のリサイクル等の取り組みを行っておりますが、小学校では落し物を少なくすることにより、物を大切に長く使う取り組みなどが、中学校では校地内や地域の清掃活動、緑化活動などの取り組みが報告されており、どの児童生徒も環境を守るという意識を持って取り組んでいるということが感想などから読み取れ、こうした継続した取り組みが、よい効果を生み出すものと考えております旨を答弁いたしました。

要旨 6「I T 活用教育について」の中で、「小学校における校内 L A N 整備をどのように考えているか」とのご質問には、普通教室や特別教室においてインターネットなどを使った授業ができる校内 L A N の必要性については十分に認識しており、中学校については平成 20 年度までに全校に校内 L A N の整備を終える計画ですが、小学校においても今後の総合計画の中で考えてまいります旨を答弁いたしました。

最後に、立志の会の保谷秀樹議員でございますが、「博物館・美術館構想について」と「スポーツ行政について」の件名でご質問がございました。「博物館・美術館構想について」の要旨 2「保管施設の現状と課題について」の中で、「公開型保管施設」を「博物館・美術館」という名称を復活させてはどうかのご質問には、博物館機能に準じた公開と保管という機能を備えた施設の整備を検討する上での名称でございますので、今後、施設規模、機能、運営管理など具体的な内容とともに、名称も検討することとなります旨を答弁いたしました。

「スポーツ行政について」の要旨 2「スポーツ施設における指定管理者制度の実施状況について」の中で、「指定管理者となって、市民サービスの向上や魅力ある事業展開の具体的な取り組みについて」のご質問には、本市

の主要なスポーツ施設につきましては、財団法人藤沢市スポーツ振興財団が指定管理者となっており、導入後に開始された具体的なサービスとしては、スポーツ施設予約手続の窓口の増設、プール利用時間の拡大、回数券の共通利用、スポーツ用具やロッカーのレンタル、防災カードの導入、各種スポーツ教室数の増加、種類の拡大等となっております旨を答弁いたしました。以上で、一般質問の報告を終わります。

次に、9月22日に教育委員会委員の任命についての議案が提案され、「鈴木紳一郎」新委員は、全議員の同意をいただき、同日議決されましたので、皆様にお知らせいたします。

最後に、平成17年度藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定について、ご報告させていただきます。決算特別委員会におきまして、平成17年度における教育行政の歳入歳出に係る内容を説明した後、質疑、討論を行い、採決の結果認定され、本会議におきましても討論、採決の結果認定されました。以上で、平成18年9月藤沢市議会定例会の開催結果についてのご報告を終わりとさせていただきます。

川島委員長

ただいまの教育長報告につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

平岡委員

養護学校高等部入学者選抜について、白浜養護学校は定員をオーバーしていて、これ以上増やすことはできない状況から県と同じ抽選とするという答弁をされたようですけれども、今年度も何名か心配の部分もある中で、来年度はもっと多く特学の在席者が入る高等部がないという状況だと聞いております。障害を持った児童生徒にはきめ細かに、時間をかけて教育をしなければならないその子たちを、中学を卒業してその次の場がないからといって入学させられない。抽選に漏れた人は家庭で見てくださいということは、無理な話だと思います。このような事態は避けなければならないことですので、早めに何らかの対策をして、彼らが通える場所、できれば藤沢市内にそういう場をつくるべく、県と十分に相談していただきたい。中学で終わらざるを得ないような生徒を出さない努力を早急に始めていただきたいのですが、現在どんな方法で検討されているのか伺いたいと思います。

飯島教育総務部参事

養護学校につきましては、従前より課題があり、県内各養護学校について大規模化、特に高等部の在籍者数が多いということです。県は新たに養護学校については11校を新設する必要があるという報告書が出ております。その中に湘南地区に1校必要であるということですけれども、用地の取得等数年の間に養護学校がつくられていくことは非常に難しいと聞いております。県立の養護学校については、高等部を高等学校の一部教室を利用して分教室という形でつくっております。県の見解としては、希望がある

子どもたちには養護学校に入学ができるよう、今後も引き続き努力をすることです。そういう中であって県立の高等部については定員を定めて、今までは調整をして入学校を決めているのですが、最終的には定員を増やすような形で全員の入学をさせたいわけですが、昨年度その調整ができなかった養護学校が1校ありまして、抽選を実施したと聞いております。来年度の4月に入学する子どもたちについては、どうか今の定員の中で収まるだろうということですが、その次の年度になりますと、定員を増やしていく以外に、偏りが起こってしまった場合に受け入れが困難であるという判断がありまして、今年度、県立の養護学校高等部については定員を決めて、それをオーバーする子については抽選を行う。ただし、A判定、重い判定をしているあるいは地域指定については、優先するという考えでございます。白浜養護学校の高等部につきましては、従来どおりの調整ができないという状況です。希望者をすべて受け入れるという状況にありませんので、県立養護学校高等部と同じように、定員を決めて、そしてそれを超える場合には抽選をせざるを得ないということですが、できるだけ抽選をしないで済むよう事前の調整を図っている。それから今、白浜養護学校中等部3年生の子については、希望があればできるだけ白浜養護学校高等部に進学が可能なような状況がつかれるよう努力をしているところでございます。

平岡委員 今の特学の2年生は、調整でどこかに入れるという状況ではないようですので、その対策を考えていかなければいけないのではないのでしょうか。

飯島教育総務部参事 市立で養護学校を持っているところは限られておりまして、政令指定都市を除くと2市しかない。市の中で内部努力をするのは非常に難しいところがあります。県立養護学校高等部については、新設が無理ならば分教室といった形で定員枠の拡大を図るということです。我々としても入れないという状況が起きないように、県に養護学校全体を考えて努力をしてもらうように要望しているところでございます。

平岡委員 健康な子は高校全入という時代の中で、手厚い教育あるいは介護も必要な子どもを場がないからといってそのまま社会に出すということが、家庭に戻すということが起きないように、努力をお願いいたします。

小野委員 中学を出て、そのまま高校に行けないという状況だけはつくりたくないということもあり、県には分教室を含めて定員枠を増やす形でと、教育長会議等も含めて働きかけをしていきたいと思っております。

川島委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、報告どおり了承することといたします。

÷÷÷

川島委員長 その他に入ります。

(1) 第 37 回藤沢市総合かがく展について、事務局の説明をお願いします。

松本教育文化センター長 湘南台文化センターこども館ワークショップ室及び湘南台市民ギャラリーを会場といたしまして、2006年11月2日(木)～11月7日(火)まで6日間、第37回藤沢市総合かがく展を開催いたします。このかがく展には夏休み等を利用して取り組んだ小中学生の理科作品、研究作品等が学校を通して約1,400点出品される予定であります。この中からすぐれた作品を選び、最優秀賞、優秀賞を送ることにしておりますが、入賞者に対してはかがく展開催中の4日の土曜日に、教育長や教育総務部長に出席いただいて表彰式を行います。このほかにもワクワク実験コーナーや、中学校理科研究発表会などのイベントも開催期間中に計画しております。なお小学生の作品は、湘南台文化センターこども館ワークショップに、中学生の作品は湘南台市民ギャラリーに展示いたしますが、6日の月曜日に関してはこども館が休館になりますので、中学の作品展示のみとさせていただきます。

市民の方々、児童生徒の皆さん、保護者の方々と多くの方にご来場いただけることを期待しております。以上です。

川島委員長 ただいまの説明に関してご意見・ご質問がありましたらお願いします。
特にないようですので、了承することにいたします。

×××

川島委員長 次に、(2)「藤沢こども議会」実施概要について、事務局の説明をお願いします。

植木生涯学習部参事 例年行われている「こども議会」については、今年度は11月11日(土)を予定しております。年度ごとに小学生と中学生を交互に行っておりまして、本年度は中学生により実施いたします。実施のテーマ等につきましては、グループごとに都市計画に関心があるグループ、防犯に関心があるグループ、出生率のアップという視点からのグループ、産業発展についてと藤沢の海についてのグループから、意見発表があります。

それから市政に関する質問の部分については、1班は都市開発について、市町村合併を視野に入れた質問内容となっております。2班は江の島展望灯台の建て替えについて、3班の借金返済の見通しについては、いま市が抱えている借金の返済の見通しについてということです。4班は藤沢の学校について、5班が姉妹都市についてです。

対象の子どもたちは中学生で、本年度は43名、ほぼ議場いっぱいになる子どもたちの参画を得ることができました。市側からは本会議と同様に、部長等の出席を仰ぎまして開催していきたいと考えております。なお、当日

のスケジュール等々については、記載のとおりです。以上です。

川島委員長 ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

小野委員 「江の島展望灯台建て替えについて」というのは、また建て替えるという意味ではないと思うが。

植木生涯学習部参事 このグループは従前の展望台に思いがあるようで、どういう経過で建て替えをされたのかという質問のようで、今あるものを建て替えるということではないようです。

川島委員長 ほかにありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

川島委員長 以上で、本日予定いたしました公開で審議します案件はすべて終了いたしました。

次回の定例会の期日を決めたいと思います。11月10日(金)午後3時から。場所は東館2階教育委員会会議室において開催したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

川島委員長 それでは、次回定例会は11月10日(金)午後3時から。場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

以上で、本日の公開による審議案件はすべて終了いたしました。

午後2時35分 休憩

この会議の結果を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員